

今月の星空



川口市立科学館
Kawaguchi Science Museum

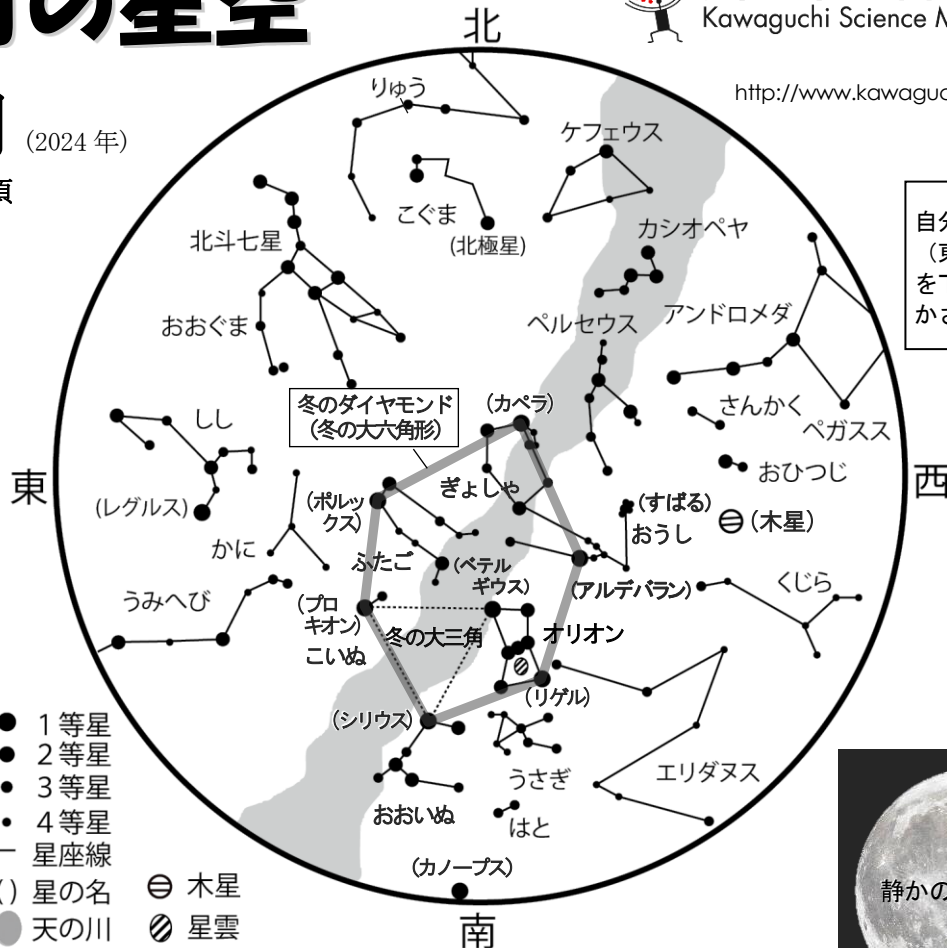


tel 048(262)8431

http://www.kawaguchi.science.museum/

2月 (2024年)

中旬 20 時頃



星図の見方
自分が見ている方角を下
(東の空を見るときは東
を下)にして、頭の上に
かざして見ます。



図「SLIM」着陸地点 (矢印)

月 齢 ① 下弦 3日、● 新月 10日、② 上弦 17日、○ 満月 24日
惑星情報 金星 日の出前 南東→東(いて→やぎ座 -4等)
木星 夜のはじめ頃 南西→西(おひつじ座 -2等)

☆冬のダイヤモンド～にぎやかな宵の空を見よう～

2月に入ると日の入りが17時を過ぎるようになります。辺りが暗くなる18時頃には、すでにオリオン座が南の空で見えはじめ、20時には「冬の三大角」もほぼ南中(真南に来ること)し、見つけやすいでしょう。そこから、天頂付近まで視界を拡げて、1等以上の6つの星からなる「冬のダイヤモンド(冬の大六角形)」を一気にたどってみましょう(星図参照)。その中で、全天一の明るさを誇るシリウスは、^{マイナス}-1.4等——次に明るいカペラ(0.1等)の約4倍の明るさ——で輝き目立ちます。そして、シリウスが南中する頃、南の地平線付近には、全天で2番目に明るいカノープス^{マイナス}(-0.6等)*も顔を出します。東の空には春を代表するしし座が昇り、西の空の木星の輝きはまだまだ健在で、冬のダイヤモンドに花を添えるようです。*カノープス…川口市での南中高度は約2度と低く、実際には見つけるのが難しい星。

☆満ち欠けする月を見よう～24日 今年最小の満月～

1月20日、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の小型月着陸実証機「SLIM」が日本初(世界で5か国目)の月面軟着陸に成功しました*。以下を参考に、SLIMが着陸した月を実際に眺めてみましょう。

*SLIMの着陸地点…「神酒の海」の近く、直径約300mの小さな「SHIOLI」クレーター付近(上図参照)。

12日「三日月」…日の入り後、西の低空で見られる。10度以上の高さがある18時台がおすすめ。

17日「上弦(半月)」…日の入り頃に南中するため見つけやすい。日中(午後)は東の空に見える。

24日「満月」…今年最も小さく見える満月——今年12回ある満月の中で地球からの距離が最も遠い。

日の入り頃に東から昇り、20時には30度を超えて見やすくなる。今年最大の満月は10月17日。

コラム～今年は「2月29日」がある閏(うるう)年

今年は1年の日数が例年より1日多い、366日となる「うるう年」です。1年の長さは、地球が太陽を一回りする時間(公転周期)が基となりますが、この公転周期は正確には約365.24日(365日と約6時間)です。つまり、365日では地球が一周して元の位置に戻りきれない(6時間分足りない)ことになります。4年間で約24時間のズレになるため、4年に1度、1日加えることで補正しています。